

担当分野	炭鉱の生活	委員名	吉岡宏高	
	資料頁数	15	資料数	7

I期 戦後改革・ 制度整備期 ( '45~'55)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 鉱山文化会関係（日曹天塩炭鉱：1946-1947：北海道博物館）</li> <li>● 移動映画上映に関する照会について（日曹天塩炭鉱：1948-1949：北海道博物館）</li> </ul> <p>※石炭増産に向けて天北炭田の日曹天塩炭鉱のような限界的な炭鉱にまで中央とほぼ同水準の文化催事が展開されていた様子</p>
II期 高度成長期 ( '55~'75)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 北炭三山分離闘争関係資料（1960：北海道博物館）</li> <li>○ 豊里炭鉱の小学生香河菊枝から佐藤首相への手紙（→赤平市教委：1967）</li> </ul> <p>※合理化（スクラップ&amp;ビルド）による生活に対する影響</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 北海道炭住関係資料（1978：西山卯三文庫）…北海道工業大学大垣直明教授からの報文、北海道住宅都市部真木光哉参事からの回答文書</li> <li>● 北炭夕張新鉱炭住計画（1970：夕張市石炭博物館）…北海道大学工学部太田實研究室</li> </ul> <p>※住環境改善に向けた取り組み（新炭住計画⇔事実上給与住宅化した改良住宅）、背景に鉱員確保難</p>
III期 低成長期あるいは安定成長期 ( '75~'95)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 閉山の児童・生徒に対する影響（→三笠市教委冊子）</li> <li>○ 閉山の学校荒廃に対応する取り組み（→三笠市教委冊子）</li> </ul> <p>※閉山による地域崩壊が子供に与えた影響と、それに対処する教育現場の取り組み</p>
IV期 構造改革期 ( '95~'03)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 炭鉱の記憶推進事業（→1998：空知支庁）</li> </ul> <p>※炭鉱遺産を活用した地域活性化に向けた取り組み</p>